

ファシリテーターの問いかけ

「自分がふだん意識しない項目や強く意識している項目はどれですか」
「これらの項目の中で、たんなる違いや分類といえるものと、有利／不利があるものは、それぞれどれがでしょうか」
「ワークシートの項目の左右の並びは、どのようになっているでしょうか」
「おおむね左側が社会の中で“多数派”や“有利”なものですが、並べ方に違和感があるものはありますか」
「他にはどのようなカテゴリーが考えられますか。付け足したいものはありますか」
「項目の有利／不利について、ご自身の経験で共有していただけることがあれば、お願いします」

●ふりかえり(10分)

全体を通して、気づいたことや感じたことを発表してもらいます。
「よりよい出会いのためのコミュニケーションの心がけ」として話しあってもらい、発表してもらっても結構です。

ファシリテーターのコメント

「自分に関わる情報について、何をどこまで言うかはその人自身が決めるということが基本です」
「自分にとって、質問されて答えるのに何の違和感もないことでも、全ての人がそうだとはいえません」
「だからといって、質問してはいけないということではありません。大切なのは、その人との出会いのなかで、なぜそれを聞きたいのかということではないでしょうか」
「聞かれたことに違和感がある場合、どのように返答すればよいでしょうか。それを対話のきっかけに、お互いに理解を深めるにはどうしたらよいのでしょうか」
「社会の中での立場は、“有利／不利”“差別する／される”といった二項対立に単純に分けられるものではなく、いろんな要素が複雑に絡みあっています。いろんな要素があるのだから“お互いさま”“仕方ない”というものでもありません」
「あらゆる社会的な立場について詳しく知ることは不可能ですが、自分にとって有利なことは自覚しにくく、不利なことは意識せざるをえない場面が多いということはいえます。まずは、今回のワークの「条件カード」や「アイデンティティの重層的カテゴリー」を手がかりに、自分の立場について自覚しにくくなっていることは何か、じっくり振り返ってください」

★発展・応用★「この質問はOK?」

自己紹介するときの項目や初対面の相手に質問する項目をのり付きふせん紙に書き出します(または、ファシリテーターがあらかじめカードにして用意しておきます)。それを「話しやすい／話しにくい(答えやすい／答えにくい)」「聞きやすい(質問しやすい)／聞きにくい(質問しにくい)」の二元軸で分類し、どういった基準で「話しやすさ」が決まるのか、質問の際に配慮すべきことはどういったことかを考えます。

- ※位置づけ
- 1) 「知り合うために何をきく?」を短くし、展開として行ないます。
 - 2) 「結婚の条件」の内容を踏まえて、「アイデンティティの重層的カテゴリー」の代わりに行ないます。

「わたしは」ではじまる10の文章

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____

わたしは _____